

## 第39回消火技術コンクール実施要綱

### 1 目的

この消火技術コンクールは、地域防災の担い手として活躍している婦人防火クラブ員、各町内会防火部員及び管内各事業所等の従業員を対象に、有事の際における通報、初期消火技術の習得と併せて、地域ぐるみの防火防災組織の協力体制を確立することを目的とする。

- 2 実施日時 令和4年10月6日(木) (予備日：10月14日(金))  
午前9時30分から12時00分まで (出場チーム数等により前後します。)  
(雨天中止、当日午前6時00分に決定)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止する場合があります。

- 3 実施場所 モリリン加瀬沼公園 サッカー場 (利府町加瀬字新堤下7-1)

### 4 実施機関

主催：塩釜地区消防事務組合  
塩釜地区少年婦人防火委員会

後援：塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町  
利府町、塩釜地区防災安全協会  
塩釜地区婦人防火クラブ連合会

### 5 出場資格

塩釜地区管内(塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町)に所在する事業所等の従業員、町内会の自主防災組織、婦人防火クラブ員、その他防災関係者とする。

### 6 競技種目

消火器の部 (男子の部、女子の部、婦防の部、自主防災の部) 2人操法

※ 競技内容は、別添「第39回消火技術コンクール実施要領」のとおり

### 7 出場申込み方法

別添の出場申込書に必要事項を記入し、**8月31日(水)まで**塩釜地区管内の最寄りの消防署に直接提出するか、または消防本部予防課に申し込むこと (FAX 可：366-5130)。

### 8 出場時の留意事項

- (1) 集合時間 出場チームは午前9時10分までに受付を終了し、所定の待機場所での出場準備をすること。

なお、出場チームの責任者は、受付にてプログラム及びプラカードを受領すること。

- (2) 駐車場 参加者は、モリリン加瀬沼公園第4駐車場を利用すること。

なお、努めて相乗りで来場すること。また、使用器材の搬入目的以外で競技会場への車両乗り入れは厳禁とする。

- (3) 写真撮影等について

主催者が撮影した写真については、主催者の事業記録や広報資料等として使用することをあらかじめご了承ください。また、出場する個人又は団体が撮影した写真等については、個人情報保護の観点から、その取り扱いについて十分な配慮をお願いいたします。

### 9 問合せ先

塩釜地区管内の最寄りの消防署または消防本部予防課指導係 (電話：361-1617)

# 消火技術コンクール実施細目

## 1 総則的事項

### (1) 受付要領

- ① 出場団体は、出場チームの責任者が受付をし、プログラム及びプラカードを受領する。
- ② 受付終了後、会場案内係の指示により所定の場所で待機する。

### (2) 開会式要領

- ① 会場案内係の指示により集合線（本部テント前）に集合する。
- ② 整列する順序は、右翼より審査員、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町の婦人防火クラブ、事業所、町内会（自主防災組織）の順に集合する。

### (3) 出場準備要領

- ① 各チームは、出場種目開始10分前までに指定されたコースごとの待機場所に集合し出場準備をする。（各種目審査主任の指示による。）

### (4) 服装

競技しやすい服装で、靴は運動靴等とし裸足は厳禁とする。

### (5) 表彰

- ① 表彰式は、競技終了後に行う。（審査集計中に、レクレーション実施。）
- ② 入賞チーム数は、出場チーム数に応じ大会運営委員会で決定する。

## 2 競技実施要領

- (1) 競技種目の実施要領は、別紙「第39回消火技術コンクール要領」とする。  
なお、競技及び審査運営の都合上、今後において実施要領の一部を変更する場合がある。
- (2) 競技順序は、後日配付するプログラムに記載の順序とするので、出場チームの責任者（監督者等）は、予め出場順序を確認すること。

## 3 審査結果の決定

- (1) 結果順位は、減点を含めた合計タイムの早い順とする。なお、同順位の場合は、出場チーム代表者による抽選を行い順位を決定する。
- (2) 審査結果の最終決定は、審査委員会の意見を聞き審査長が決定する。
- (3) 審査委員会は、審査長及び審査主任で構成する。

## 4 その他

- (1) 出場チームからの事務局への連絡等は、すべて出場チーム責任者（監督者等）を通じて行うこと。
- (2) プラカードは、開会式及び競技出場時に使用するので、責任をもって管理すること。
- (3) 閉会式は行わないので、出場競技が終了した団体等は、その都度解散して差し支えないこととする。
- (4) **コンクール出場のための事前練習に伴う資器材の貸し出しは、9月5日(月)から9月26日(月)までとする。**



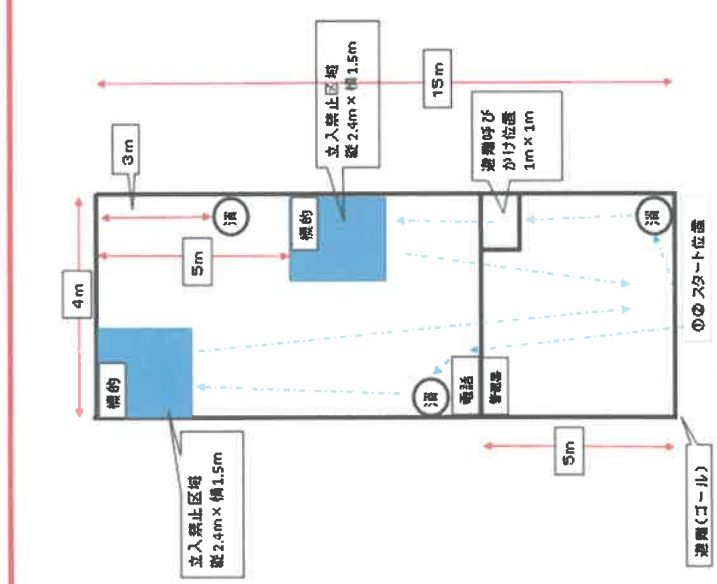
第39回  
消火技術コンクール実施要領

競技種目

消火器の部 2人操法

塩釜地区消防事務組合消防本部

消火器の部

実施要領	図解	審査項目
<p>1 出場チームは、所定の位置にある水消火器3本以内を使用し競技する。</p> <p>2 スタート位置に集合する。(①住民 ②通行人)</p> <p>3 操作開始は、住宅用火災警報器の鳴動合図による。</p> <p>4 操作要領</p> <p>(1) ①住民は、住宅用火災警報器の鳴動合図により、任意の位置で出火場所の指差し確認「<b>火災発見</b>」と呼称して、周囲に火事を知らせるため「<b>火事だ。火事だ。</b>」と呼びかけてから電話で119番通報し、審査員の「よし」の合図(声及び赤旗を上げる)で、所定の位置にある水消火器を操作し、審査員の「よし」の合図まで標的に注水する※。その後、スタート位置に避難(ゴール)し待機する。</p> <p>ア 通報要領は119番をダイヤルし、「〇〇市(町)〇〇丁目〇番〇号(会社名または住宅名)の〇〇が火事です。避難中です。」と通報し、受話器を置く。審査員は、番号及び通報内容が適切と判断した場合「よし」と呼称し、赤旗を上げる。(通報が適切でない場合には、修正を指示する。)</p> <p>イ 出火場所の想定(台所・給湯室)は、審査員が提示する。</p> <p>ウ 標的に注水する際は、立入禁止区域に踏み入って(マットに触れてはならない)操作した場合は減点とする。</p> <p>エ 消火器を搬送中、ピンが外れて水が漏れた場合には、減点とする。</p> <p>オ 使用した水消火器は、その場に置く(倒さない)。</p> <p>(2) ②通行人は、住宅用火災警報器の鳴動合図・「火事だ」及び通報担当審査員の「よし」の合図(赤旗を上げる)により、所定の位置にある水消火器を持ち、避難呼びかけ位置に入り周囲に「<b>火事です。</b>」と呼び掛けてから、水消火器を操作し、審査員の「よし」の合図まで標的に注水する※。その後、スタート位置に避難(ゴール)し待機する。</p> <p>前(1)イ～オと同じ</p> <p>※ 標的2個は、競技者それぞれ又は協力して消火すること。また消火できなかった場合は、スタート位置に避難を優先させると。</p>	<p><b>【想定】</b></p> <p>住宅用火災警報器の鳴動音に気付いた家主が、周囲に火災であることを周知するとともに、119番通報・消火作業・避難を実施する。</p> <p>また、住宅用火災警報器の鳴動音と家主の「火事だ。」の声に通行人が駆け付け避難と消火作業を手伝った。</p> 	<p>1 競技は、スタートからゴールするまでの減点(タイム加算)及び通報審査員の「よし」の合図(赤旗を上げる)から消火完了(標的2個)の標的審査員の「よし」の合図までの(タイム)により審査する。</p> <p>2 タイムの早い者から順位を決定する。</p> <p>操作減点(加算タイム) タイム</p> <p>(1) 出火場所の通報を間違えた。 2秒</p> <p>(2) ダイヤル(119)を間違えた。 2秒</p> <p>(3) 消火器を搬送中、水が漏れた。 2秒</p> <p>(4) 搬送中、消火器を落とした。(2秒×回数) 2秒</p> <p>(5) 立入禁止区域に踏み入った(マットに触れた。)1回につき 2秒</p> <p>(6) 消火できなかった標的1個につき 5秒</p> <p>(7) 3分以内に避難完了(ゴール)出来なかった。 5秒</p> <p>(8) その他審査長が必要と認めた事項。 2秒</p>
<p><b>その他注意事項</b></p> <p>1 編成は、住民及び通行人の2名とする。</p> <p>2 水消火器の搬送は、1人1本ずつとする。</p> <p>3 タイム計測は、通報審査員の「よし」の合図(赤旗を上げる)から消火完了(標的2個)の標的審査員の「よし」の合図までとする。</p>		

なお、競技及び審査運営の都合上、今後において実施要領の一部を変更する場合があります。